

ぷくぷくほーむ（短期入所・日中一時）

管理者 吉川博

あけましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬご愛顧を賜り、ありがとうございました。

本年もよろしくお願い致します。

利用者様同士が楽しく、安全、安心して利用していただける様に、細心の注意をしながら日々の業務を送っています。

また、新型コロナウイルス感染防止対策として、換気、手の消毒、うがいなどを行い、日々の生活を送っています。一人一人の利用者様が楽しく過ごせるように、それぞれに合った過ごし方を、より細やかに、具体的に行えるよう日々努力してまいります。



ぱいろっと（相談支援）

相談支援専門員 前田康裕

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、兵庫県においても二度目の緊急事態宣言が出されている状況で、いつもとは違った新年をお迎えのことと存じます。

今しばらくはこの状況が続くと思われませんが、皆様におかれましては、お身体にご留意いただき、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、「相談支援事業所 ぱいろっと」を開業いたしました。もう直ぐ二年が過ぎようとしています。これまで無我夢中で走って参りましたが、利用者様、ご家族様並びに各関係機関の皆様のお力添えにより、少しずつではありますが、確実に一歩一歩進む事が出来ているのではないかと考えております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

これまで様々な状況のお話を聞かせていただく機会がございましたが、それを基に今回は「エンパワメント」についてお話をさせていただきます。

「エンパワメント」とは、『利用者様ご本人の持っている力を引き出し、発揮出来るように支援する事』という社会福祉のキーワードのひとつで、福祉サービスを、国や地方自治体から与えられる恩恵としてではなく、利用者様自ら選択出来る権利として捉えるという考え方で、私たち相談支援専門員にとりましても非常に重要な考え方となります。

しかし、信頼関係を構築した上でのしっかりとしたアセスメントが無ければ、利用者様に依存的な役割を与えたり、自己評価を低下させたり、自分らしさを奪ったりといった危険な側面もあります。

三年目を迎えるにあたり、再度基本に立ち返って、「利用者様が何を生きがいとしているのか。」をもう一度利用者様と一緒に考え、自立や自己実現のお手伝い出来るようにしていきたいと考えています。

編集後記 今年の冬は寒さが厳しいですね。手洗い・うがいで風邪をひかないように過ごしましょう。コロナが一日も早く収束し、通常の生活に戻ることができるよう願っています。

文責：津浦

社会福祉法人 緑樹福祉会

第4号 令和3年1月

緑樹福祉会だより

赤穂市大津 1041

TEL 0791-45-2240

FAX 0791-56-9000

<http://www.ryokuju-fukushi.com/>

理事長挨拶

理事長 三村佳壽子

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は当法人の事業にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

新年とは言うものの「おめでとうございます」と晴れやかな気分で迎えるのとは程遠い新年となりました。新型コロナウイルス感染防止の為に自粛や飲食店の時短の要請などこれまでの社会生活が大きく変わりました。この一年間止む無く店舗を閉じざるを得なくなった方、職を失った方、感染され家族とお別れもできなく弔われた方やご遺族など大きな悲しみ苦しみ世界を覆っております。しかしその中においても、私たちは小さな光を見つけ進まなければなりません。

当法人の事業所をご利用いただいている障がい者児の皆様にも行事がなくなったり、療育が中止になったりとご不自由をお掛けしております。又職員の方々にも感染防止に努めていただいたり、行事の変更を見据えて、それに代わる様々な工夫を凝らした楽しい活動の提供をおこなったりと苦勞をかけております。

さて、昨年の年頭のあいさつではグループホームの建設に向けて地域の説明会でご理解をいただき、補助金申請の審査会の決定を待ち望んでいることのご報告をさせていただきました。それ以降この一年で補助金の決定があり、建築業者の選定を行い、地鎮祭を執り行い今順調に建築が進んでおります。三月末には完成、四月には開業の予定となります。定員数は七名そのうち二名は体験希望者によりご利用していただけるようになっております。

思い起こせば、「赤穂市手をつなぐ育成会」が運営していた「わかば作業所」を社会福祉法人の認可申請を行ったのは、当時の会員のグループホーム建設への強い希望があったからこそです。当法人は「赤穂市手をつなぐ育成会」の強い協力と運営の参画のもと事業を拡大させていくことが出来ております。

令和三年は「わかば園」「てくてく」のサービスの向上、利用者、職員ともども笑顔で一日を過ごすことに、一層力を入れて参ります。

「ぷくぷくほーむ」は利用者に今以上に満足して帰っていただき、ご家族に安心できるひと時の休息をご提供させていただきます。

「ぱいろっと」開業以来ご本人やお母さま方に信頼をいただけてまいりました。「ぱいろっと」の名前のお水先案内人として一人一人の最上級のプランを組み立て、提供させていただくよう努めます。

そして何よりも目標であったグループホームの運営を安定させるとともに、入居者の皆様にプライベートを確保し自由な暮らしを楽しんでいただけるよう一意専心でのぞませていただきます。

結びに皆様の変らぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

少し暗めの年明けではありますが、二月末ごろからはワクチン接種が始まるのではとの明るい兆しを希望に、今年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



グループホーム建築の様子

令和三年丑年です。明けましておめでとうございます。
新型コロナウイルスの終焉を願わずにおれない年の始まりですが、オリンピック・パラリンピックが開催されることを願っています。

さて、新型コロナウイルスで恒例の行事が中止になった令和二年度でした。播但地区の施設協会主催の「親善運動会」「ゆうあい文化祭」をはじめ、わかば園主催のバス旅行、バーベキュー大会も中止になりました。

その中でも新型コロナウイルスへの感染対応に十分に配慮し、コロナに負けず工夫した活動を紹介します。

<就労継続支援B型>

兵庫県の農福連携インターンシップ事業の農福連携農業体験会に参加しました。そこでのご縁で「青ネギの外皮むき」の作業を新規に始めました。コロナ感染症対策として部屋の換気に注意し、マスクをしての作業です。薄皮をむく作業に集中して取り組んでいます。

<利用者の感想>

薄皮をむいた青ネギが赤穂市の給食センターで使われていると聞いて、頑張ります。丁寧に皮むきます。

ネギの臭いにも慣れました。

<生活介護>

第一波のコロナの非常事態宣言が解除になった時期に、行事の中止や園外へのドライブ等の活動自粛が続いたので、生活にメリハリをつけるためにも、みんなで作る夏祭りをめざした活動を展開しました。

利用者さんも飾り付けや準備と一緒に参加し、雰囲気を取り上げました。

九月十六日の祭り当日には、金魚すくいや魚釣り等、一時夏の涼を楽しむ時をすごしました。

<寒さに負けず、来る春をめざして寄せ植え作り！>

コロナ感染症対策をしっかりと、春の花「パンジー」「ストック」などを植え込みました。

コロナもおさまって明るい春が来ることでしょう。



何頭の丑がいますか？



薄皮が残らないように注意して



浴衣を着て金魚すくい



春よ来い！

新年、明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。
保護者の皆様にはてくてくの活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。

昨年に引き続き、新型コロナウイルスが猛威をふるっておりますが、子ども達はマスク、手洗い、消毒、人との距離をとることがしっかりと身につけてきました。

その成果なのか、通常の寒い時期よりも風邪等の体調を崩すことなく過ごせています。

年末年始の「不要不急の外出は避けましょう」のこともあり、年明けのてくてくでの子ども達は「久しぶりにみんなと会えた！」と嬉しさからテンションが高いです。朝からの散歩さえも、気持ちよく歩いておられます。大人だけではなく子ども達も今回のことで自然、人との関わりの大切さに気付かれたのではないのでしょうか。

緊急事態宣言下、日々の生活に何かとストレスがかかっている子ども達の一人一人の表情を注視して精神面のフォローも行っています。

三密等に気を配りながら、子ども達が楽しめる活動の展開に職員一同、努めてまいります。
園外、自治会参加の行事は三密もあり難しいとは思いますが、オープンてくてくに関しては、コロナ感染症の状況をみながら希望の保護者様には参加していただく方向で考えております。

又子ども達の様子で気になることがあれば、いつでも連絡を下さい。お待ちしております。
今後ともご理解とご協力を何卒宜しくお願い致します。



カード遊び



消防訓練



くつき玉



白黒返し